

2026年 市内大会運営に係る市内特別規則の変更

本資料は、2026年の千葉県少年野球大会において規則の改定が行われそれに伴い、2026年の市内少年野球大会において大会特別規則を改定いたしました。

| No | 改定前 | 改定後 | 備考 |
|----|--|--|---|
| 1 | その回の先頭打者は、準備投球が終わるまで次打者席(ネクストバッターボックスサークル)で待機すること。 次打者席では、投手が投球動作に入ったら、素振りをしてはならない。 | その回の先頭打者は、準備投球が終わるまで次打者席(ネクストバッターボックスサークル)内では直ぐ動ける体制で待機する。 次打者席では、いかなる場合でも素振りをしてはならない。 | ※次打者席内では、座ったり投手が投球するとき(グラウンドに背を向けて待機しない。 ★2025年度途中から、県大会等で適用されています。 |
| 2 | 同一投手投球制限は、Aブロックは1日70球以内とするが、4年生以下は60球以内とする。Bブロックは1日60球とする。 ただし、Bブロックについては、準決勝・3位決定戦・決勝戦以外の試合は、1試合3回(特別延長戦を含め9アウト)とする。 ア.69球でインングが終了しても、次のインングの1人までは投球を認める。 イ.打者と対戦中に申告敬遠しても、それまでの投球はカウントする。 ウ.打者への投球ボークは球数にカウントする。 | 同一投手投球制限は、Aブロックは1日70球以内とする。加えて1週間の投球数を210球以内とする。4年生以下は60球以内で加えて180球以内とする。 Bブロックについては、従来通り対応する。 ア.69球でインングが終了しても、次のインングの1人までは投球を認める。(4年生以下は59球) イ.打者と対戦中に申告敬遠しても、それまでの投球はカウントする。 ウ.打者への投球ボークは球数にカウントする。 | ※Aブロックの大会日程については、週3日以上 の試合及びダブルを組まない。 ※強制ではないですが、プライベート大会や練習試合を行う場合も指導者は考えて投手起用をしてください。 ★2026年度から、県大会等で適用されます。 |
| 3 | アップ会場の利用内容は、準備運動・キャッチボール・簡単なノック・素振り(周囲の安全を確保し、監督・コーチが監視できる場合のみ可能とします。選手のみで行うことは禁止します。) | アップ会場の利用内容は、準備運動・キャッチボール・素振り(周囲の安全を確保し、監督・コーチが監視できる場合のみ可能とします。選手のみで行なうことは禁止します。ノックは禁止とします。指導者の手投げでフライやゴロの練習も禁止します。 | ★県大会では、アップ会場がある場合の規定に合わせた対応です。 |
| 4 | ピッチング練習は、大会本部にブルペン利用の旨を伝え利用してください…… | 各会場とも次の試合のチームのピッチング練習は、アップ会場でおこなって下さい。 | |
| 5 | シートノック中のピッチング練習 | シートノック中のピッチング練習は禁止とします。特に少年野球場はファールグラウンドが狭いので各会場とも禁止にします。 | |

※全軟連で大会運営に係る変更で、2027年度から導入される、同一試合で投手と捕手の兼任禁止ですが、県連盟は、2027年度から導入するそうです。市は検討中。